

平成 29 年度大気環境、水環境の状況等(概要)

県は、国及び政令市と連携し、大気環境及び水環境の調査と、ダイオキシン類などの化学物質調査を行っています。このたび、平成 29 年度の測定結果をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。PM2.5 が前年度に引き続き、全測定局で環境基準を達成し、また、河川のBODが平成 27 年度から3年連続で、全水域で環境基準を達成しました。

1 平成 29 年度大気環境の状況について（別紙 1）

(1) 大気汚染物質の測定結果

県内 92 の常時監視測定局で、大気汚染状況を確認するために測定を行いました。

- 二酸化窒素(NO_2)は、測定を行った 90 局すべてで環境基準を達成しました。
(平成 27 年度以降、全測定局で達成)
- 浮遊粒子状物質(SPM)は、測定を行った 90 局すべてで環境基準を達成しました。
(平成 27 年度以降、全測定局で達成)
- 微小粒子状物質(PM2.5)は、全測定局(測定を行った 67 局のうち、有効測定局[※] 66 局すべて)で環境基準を達成しました。(前年度に引き続き全測定局で達成)
※年間 250 日以上測定し、環境基準の評価対象となる測定局
- 光化学オキシダント(Ox)は、測定を行った 60 局すべてで環境基準を達成しませんでした。

(2) 有害大気汚染物質モニタリング調査の結果

県内 21 地点で、人への健康リスクが高いと考えられる物質の測定を行いました。

- 環境基準が設定されているベンゼンなど 4 物質は、測定を行ったすべての地点で環境基準を達成しました。(平成 17 年度以降、全地点で達成)
- 指針値が設定されているアクリロニトリルなど 9 物質は、測定を行ったすべての地点で指針値を満足しました。(指針値が定められて以降、全地点で満足)

2 平成 29 年度水環境の状況について（別紙 2）

(1) 公共用水域（河川、湖沼、海域）の測定結果

県内 54 水域 148 地点で、公共用水域の水質汚濁状況を監視するための測定を行いました。

- 人の健康の保護に関する環境基準が設定されているカドミウムなど 27 項目のうち、砒素（ひそ）が河川の 2 地点で火山地帯の自然的要因により環境基準を達成しませんでした。その他の項目はすべての水域で環境基準を達成しました。
- 生活環境の保全に関する環境基準が設定されている BOD 又は COD は、測定を行った 54 水域中 48 水域で環境基準を達成し、達成率は 88.9% でした。
（平成 28 年度は 54 水域中 49 水域で達成し、達成率 90.7%）
- このうち、河川における BOD は、平成 27 年度から 3 年連続で、測定を行った 36 水域すべてで環境基準を達成しました。

(2) 地下水の測定結果

定点調査 96 地点、メッシュ調査 123 地点、継続監視調査 143 地点の合計 362 地点で、地下水の水質汚濁状況を監視するための測定を行いました。

- このうち、定点調査では、測定を行った 96 地点中 95 地点で環境基準を達成し、達成率は 99.0% でした。（平成 28 年度は 97 地点すべてで環境基準を達成）

3 平成 29 年度化学物質調査の結果について（別紙 3）

(1) ダイオキシン類についての常時監視結果

ア 大気関係

県内 32 地点で調査を行った結果、前年度に引き続きすべての地点で環境基準を達成しました。

イ 水域等関係

県内の公共用水域（水質：59 地点、底質：36 地点）、土壌（30 地点）及び地下水（26 地点）の合計 151 地点で調査を行った結果、すべての地点で環境基準を達成しました。

(2) 化学物質環境モニタリング調査（水域環境調査）の結果

ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテルなど 12 物質について、県所管区域（横浜市、川崎市、相模原市及び横須賀市を除く区域）の 10 河川で水質調査、2 河川で底質調査を行った結果、評価基準値（水道水質基準値等）のある物質については、前年度に引き続きいずれも評価基準値を下回っていました。

問合せ先

神奈川県環境農政局環境部大気水質課

課長	加藤	電話 045-210-4120
大気環境グループ	中羽	電話 045-210-4111
水環境グループ	藤澤	電話 045-210-4123